



研修の様子を紹介します

単元デザイン講座Ⅱ（実践編）

本講座は、ICTを含めた多様な学習活動を取り入れて「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していくことを目的としています。単元デザイン講座Ⅰ（理論編）の受講者を対象とし、当センターが考案した「単元デザインシート」を用いて、「主体的・対話的で深い学び」の視点から単元の構成を練り、授業実践を行いました。

また、放送大学の佐藤幸江客員教授の「個別最適な学びと協働的な学びにおけるICT活用」についての講義も踏まえて「主体的・対話的で深い学び」の視点から協議を行い、単元全体で授業改善を考えていく重要性を確認しました。

グループ協議の様子



受講者の声

生徒の資質、能力の育成のために、教師がどのように授業をデザインしていくかという点について、考えを深めることができました。

学びの主体は子どもであることを常に意識し、今後も単元デザインシートを活用しながら、授業デザインをアップデートしていきたいです。

発達障害の理解と対応講座

本講座は、幼・小・中・高・特別支援学校の教諭等を対象に、5月と10月の2日間実施しました。講師に早稲田大学の梅永雄二教授や発達障害児者親の会の沼田夏子様、宮城学院女子大学の梅田真理教授を迎え、講義や実践発表、事例検討をとおして、発達障害のある子どもへの有効な支援について学びました。様々な校種や職種の方からご参加いただき、ともに共通のテーマについて学び合うことで、就学前から高等学校段階まで切れ目のない支援の実現に向けて学びを深めることができました。



受講者の声

特別支援教育について本を読んだりしていますが、今日のお話を聞いて、とてもストンと入ってきた感じがしました。他の職員とも共有したいです。

グループワークにより、普段ならお話を伺うことが難しい遠方の先生方の貴重なご意見を頂戴できて、この上なく大変有意義な研修になりました。

先端科学技術講座

大学と連携し、先端科学技術に関する5つの研修講座を実施しました。そのうちの3つを紹介します。

「脳科学解析：ストレスの実体を観る」

新潟大学 杉山 清佳 教授 会場：新潟大学医学部

脳研究の実際や、脳の柔軟性についてご講義いただきました。実習では、脳ブロックから切片を作成し、顕微鏡で観察まで行いました。(6月15日)

受講者の声

- ・ 促進系の神経と抑制系の神経の相互的な作用を授業に利用できそうです。
- ・ 基礎研究の重要性を生徒に語る話題ができました。
- ・ 脳の分野は興味・関心をもっている生徒が多いので、最先端の研究を話題にしたいと思います。



「新元素の探索と超重元素の化学」

新潟大学 後藤 真一 准教授 会場：新潟大学理学部

113番元素の発見までの道のりや、無単体 ^{212}Pb と ^{212}Bi のイオン交換分離などについてご講義いただきました。(7月21日)

受講者の声

- ・ 実際に新元素発見に携わり研究されていた先生からお話を伺い、また、実際に放射性物質を取り扱うことができたことは大変貴重な経験でした。



「高圧力による殺菌・食品加工

～海底1万メートルを超える圧力を利用した熱をかけない殺菌・食品加工技術～

新潟薬科大学 重松 亨 教授 会場：新潟薬科大学

生卵の高圧力処理実験をとおしての食品高圧加工技術や、高圧力による非熱的な殺菌実験と研究についてご講義いただきました。(8月25日)

受講者の声

- ・ 卵という身近な材料で、圧力処理の原理がよくわかりました。圧力によるタンパク質変性と卵の変化がわかりやすかったです。
- ・ 非熱的な殺菌方法が衝撃でした。発酵の実験の新たな手法を学べました。

お知らせ

「研修の活用状況等に関する調査」について

今年度、当センターが主体となり実施した研修・講座の受講者を対象に、「研修の活用状況等に関する調査」を実施しています。

既に研修・講座の受講を終えた方は、右のQRコードまたは当センターHPからGoogleフォームにアクセスし、御回答ください。

